

## 安全衛生、環境保全推進

### 安全衛生、労災削減



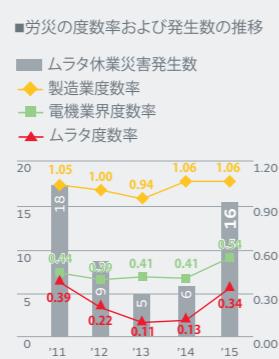
写真左より  
株式会社村田製作所 野洲事業所 管理部 事務課 藤井 隆成  
株式会社村田製作所 八日市事業所 管理部 事務課 白田 登司

#### 安全体感学習による安全への意識向上

野洲事業所と八日市事業所では、派遣社員も含めたすべての従業員を対象に安全体感学習を実施しています。製造工程で発生する危険性のある「挟まれ」「巻き込まれ」「感電」や、一般事務業務でも発生する「重量物運搬時の腰痛」「ドアの指挟み」「カッターによる切創」などの疑似体験を通して、安全への意識を高めることを目的とするものです。

疑似体験を行うと、労災は他人事ではなく、いつ自分にも起きるかわからないと気付いてもらうことができます。安全体感学習によって机上學習だけでは難しかった安全意識の向上が図れています。

ムラタでは、労災発生防止のために、設備改善などハード的な取り組みと、安全衛生に関する教育や啓蒙活動などソフト的な取り組みをあわせて実施しています。ムラタの労災度数率<sup>※</sup>は、製造業平均に比べて低い値ですが、さらに低くなるように取り組みを継続していきます。



※100万延効働時間当たりの労働災害による死傷者数

### 地球温暖化防止

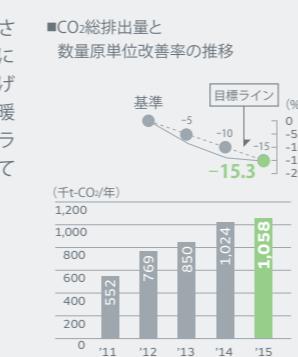
#### 排熱の有効活用で温暖化防止に貢献

無錫村田製作所は積層セラミックコンデンサの製造工場であり、エネルギーの使用量も多く、CO<sub>2</sub>排出量はムラタ内でも上位に挙げられます。工場で運転しているユーティリティ設備、たとえば空調用の冷凍機や生産用のコンプレッサーなどは、長時間運転すると発熱するため水で冷却させる必要があります。冷却に用いられた水は数十度の温水になりますが、無錫村田製作所では、これまで捨てられていたこの温水の熱を有効活用することにより、工場で使用している蒸気の使用量を10%削減することができました。この取り組みによって削減できたCO<sub>2</sub>の量は1,700 tで、一般家庭が年間で排出する量に換算すると約340世帯分に相当します。今後も無駄を探し出し、改善の裾野を広げながら温暖化防止活動を推進していきます。



写真左より  
無錫村田電子有限公司 管理部 環境管理科 薛 明生、王 旭峰、吳 蔚

ムラタでは、事業活動で排出される温室効果ガスの総量削減に向けて温暖化防止方針を掲げています。目標達成のため、温暖化防止特別委員会を中心にムラタグループ全体で活動を行っています。



### 省資源、廃棄物



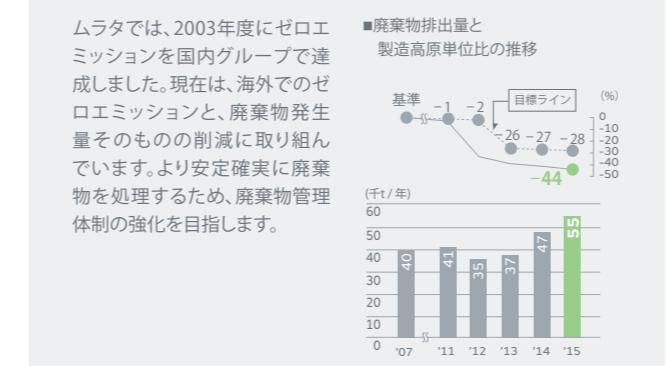
写真左より  
株式会社冰見村田製作所 事務課 山下 義明  
株式会社富山村田製作所 第2製造部技術1課 中村 利久  
株式会社村田製作所 環境・安全部 環境安全推進課 川勝 康右

#### ひとつの活動がさまざまな効果を生み出す省資源活動へ

製造工程で使用している液体PFC<sup>※</sup>は地球温暖化の原因になりますが、これまで大半を揮発させていました。ムラタでは、従来から省資源の取り組みとして環境負荷の高い化学物質の削減を推進してきましたが、2014年度より、ムラタグループ横断の委員会を立ち上げ、PFC削減の取り組みを強化しました。試行錯誤の末、2015年度には、PFCを回収、再利用することができる装置を富山村田製作所、冰見村田製作所に導入しました。その結果、PFCの使用量を70%削減できました。液体PFCはCO<sub>2</sub>の約6,000倍の温室効果があることから、CO<sub>2</sub>排出量換算で8,000tに相当します。この取り組みは、省資源だけでなく、地球温暖化防止にも貢献することができる多面的な活動といえます。

※液体PFC:電子部品の洗浄などに用いられる炭素とフッ素を主構成元素とする液体化学物質

ムラタでは、2003年度にゼロエミッションを国内グループで達成しました。現在は、海外でのゼロエミッションと、廃棄物発生量そのものの削減に取り組んでいます。より安定確実に廃棄物を処理するため、廃棄物管理体制の強化を目指します。



### 水の削減

#### モノづくりの改善力を發揮して水の削減

製造工程では製品の洗浄などで多くの水を消費します。出雲村田製作所では、製造部門が中心となって、排水を再利用することができないか、さらに踏込んで水を使わずに製造できないか、さまざまなアプローチで改善を行い、年間で約93,000tもの水を削減することができました。また、この取り組みによって処理能力が逼迫していた水処理施設の増設も必要がなくなりました。日本では水が豊富と思われがちですが、利用できる水資源は限られています。貴重な水資源を汚染しないように公害防止を徹底することはもちろん、効率的な使い方を追求しなければなりません。今後も、モノづくりの現場の改善力を活かして、環境負荷の低減を推進していきます。



写真左より  
株式会社岡山村田製作所 管理部 環境課 松谷 和洋  
株式会社出雲村田製作所 第2製造部 生産技術課 福田 栄

ムラタでは事業活動で使用する水資源の削減、有効利用を推進しております。ムラタグループ内で情報の共有を図りながら各事業所で活動を行っています。

